

防災スペシャリスト養成研修（有明の丘） 平成30年度 第1期
「指揮統制」コース

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	講師名	学 習 目 標
11月1日 (木)	1限目 09:30～10:45	座学	災害対策本部組織を統制していくための理論と基本構造を学ぶ。	林 春男 (防災科学技術研究所)	<ul style="list-style-type: none"> 組織のリーダーが果たすべき責務を説明できる。 危機にあたって組織のリーダーが行う業務を説明できる。 効果的な危機対応のための対応手法を説明できる。
	2限目 11:00～12:15	座学	世界標準における危機対応組織の仕組みを学び、リーダーに求められる4つの役割を学ぶ。	林 春男 (防災科学技術研究所)	<ul style="list-style-type: none"> インシデントコマンドーの機能と役割について説明できる。 オペレーションズの役割と機能について説明できる。 プランニングの機能と役割について説明できる。 ロジスティクスの機能と役割について説明できる。 ファイナンス/アドミンの機能と役割について説明できる。 ユニファイドコマンドについて説明できる。
	3限目 13:15～14:30	座学	リーダーシップの理論と指揮命令を行うための要求事項を学ぶ。	林 春男 (防災科学技術研究所)	<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップの基本的な理論を説明できる。 リーダーに求められる役割について説明できる。 災害対応時のリーダー像を説明できる。
	4限目 14:45～16:00	座学	危機対応組織の参謀がどのようにトップを補佐しながら災害対策本部を運営していくのかについて学ぶ。	越野 修三 (岩手大学)	<ul style="list-style-type: none"> 危機対応の組織について説明できる。 参謀組織の構築について説明できる。 情報の処理と状況判断について説明できる。 部局横断的な実施体制の整備について説明できる。 指揮の実行について説明できる。
	5限目 16:15～17:30	座学	大規模災害を経験したトップが指揮統制の本質を語る。	山本 正徳 (岩手県宮古市)	<ul style="list-style-type: none"> 経験を基にした指揮統制の実態と考え方を説明できる。
11月2日 (金)	1・2限目 09:30～10:45 11:00～12:15	演習	地方公共団体の災害広報の事例を踏まえ、地方公共団体の長や幹部は、被災者にどう向き合い、どう語るのかを学ぶ。	高島 哲夫 (防災科学技術研究所) 木戸 崇之 (イー・ビー・シー リブラ) 辻岡 綾 (人と防災未来センター)	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の行政機関による広報の内容・方法を説明できる。 災害時の広報活動を適切に実施するための情報処理のポイントを説明できる。 記者会見の進行・運営における留意事項を説明できる。
	3・4限目 13:15～14:30 14:45～16:00	座学	大規模災害を経験したトップの指揮統制を世界標準に照らして検証する。	熊丸 由布治 (日本防災デザイン)	<ul style="list-style-type: none"> 指揮統制を適用する場面について説明できる。 危機対応の6つの視点について説明できる。
	5限目 16:15～17:15	演習	防災力アップのため、指揮統制について学んだことを、受講者のそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考える。	林 春男 (防災科学技術研究所)	<ul style="list-style-type: none"> 研修受講の目的を再認識する。 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 研修を活かして次につなげることを認識する。